

2020年(令和2年)上期 景気動向調査結果

～製造業、非製造業ともにコロナウイルス感染症の影響により、大幅に悪化～

和歌山商工会議所

- 目 的 : 当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間 : 2020年1月1日から2020年6月30日(2020年(令和2年)上期)
- 調査実施期間 : 2020年8月3日から2020年9月30日
- 調査方法 : 郵送によるアンケート方式
- 調査対象 : 常議員・議員・部会副部会長・女性会・青年部・商工振興委員 653事業所
- 回答数 : 回収数 237 (回収率 36.3%)

業 種		従業員数					合計
		0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	
製 造 業		10	12	14	6	12	54
非 製 造 業	建 設 業	8	9	9	2	1	29
	小 売 業	18	6	6	2	4	36
	卸 売 業	11	6	6	4	2	29
	サービス業	24	12	9	6	10	61
	そ の 他 業	9	8	1	1	9	28
合 計		80	53	45	21	38	237

● 概 要

2020年上期(1月～6月)の景況感は、製造、非製造業の全業種で大幅に悪化した。前回調査(2019年12月)に比べても大幅に悪化しており、業況、売上、採算、資金繰りのいずれにおいても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことが最大の原因である結果となった。一方、設備については、新型コロナウイルス感染症対策として、リモートワーク対応の設備機器やパソコンの買替、社内ネットワークシステムの入替等による増加が見られた。

直面する課題としても、全業種において、「コロナの影響」が群を抜いており、最大の課題として挙げられた。次いで「需要の停滞」や、「製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応」、「従業員・熟練技術者の確保難」が課題となっていることが伺えた。

先行きについては、製造業および非製造業ともに今期に比べると改善の見通しが示されているものの、DI値は依然マイナスとなっており、製造業、非製造業において、コロナの収束が見通せず「受注減」、「売上減少」、「需要の停滞」等が要因として挙げられるとともに、コロナの影響が今後も続くことへの懸念が強く、先行きへの不安が表れた結果となった。

皆様から寄せられた企業、業界の取組み(抜粋)

●製造業

- ・新しい販売方法の提案
- ・テレワーク体制の確立
- ・来期に向けての拡販、人材の確保
- ・高付加価値製品の開発
- ・コロナ販売不振への対策
- ・オンライン強化
- ・新規事業の取組み
- ・ISO9001認証取得
- ・経費削減
- ・リモートによる販路拡大

●非製造業

- ・業務の簡素化・効率化を図り、経営の改善に努める
- ・経費削減
- ・オンライン化、ネット販売
- ・ICTの導入検討
- ・他社との差別化、給付金、補助金の活用
- ・デリバリー、テイクアウトによる新規顧客の取込み
- ・在宅勤務、リモート業務
- ・高付加価値化による単価アップ

※「DI値」とは

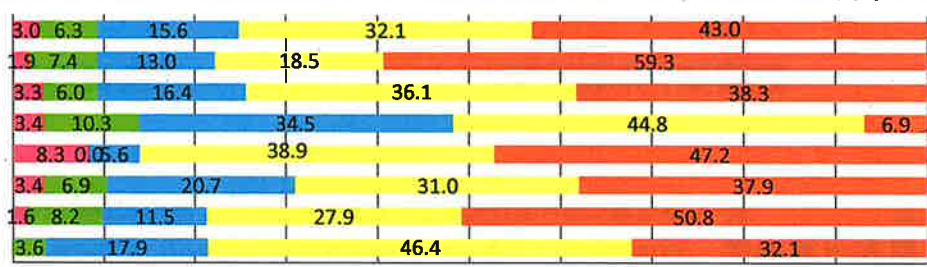
デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「好転(やや好転を含む)」、「増加(やや増加を含む)」、「上昇(やや上昇を含む)」したとする企業割合から、「悪化(やや悪化を含む)」、「減少(やや減少を含む)」、「低下(やや低下を含む)」したとする企業割合を差引いた値。

今期(2020年1月～6月)のDI値

全業種	(今期 ▲ 65.8 前期比 ▲ 63.2)
製造業	(今期 ▲ 68.5 前期比 ▲ 68.5)
非製造業	(今期 ▲ 65.0 前期比 ▲ 61.0)
建設業	(今期 ▲ 37.9 前期比 ▲ 84.6)
小売業	(今期 ▲ 77.8 前期比 ▲ 34.0)
卸売業	(今期 ▲ 58.6 前期比 ▲ 30.0)
サービス業	(今期 ▲ 68.9 前期比 ▲ 66.6)
その他業	(今期 ▲ 75.0 前期比 ▲ 82.7)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

製造業で▲68.5(前期比▲68.5)、非製造業で▲65.0(前期比▲61.0)、全業種で▲65.8(前期比▲63.2)となり、全業種で大きく悪化した。

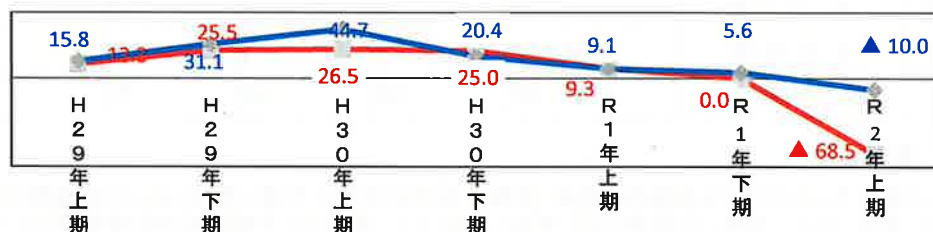
全業種で悪化、やや悪化した要因として、「新型コロナウイルス感染症による影響」が大多数を占めた。

※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

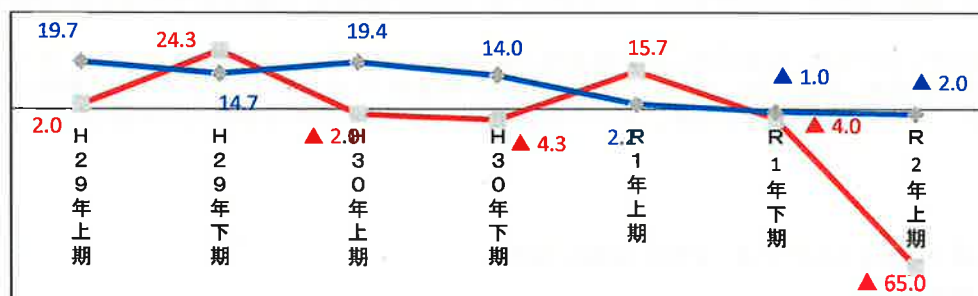
製造業

— 今期のDI値
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 今期のDI値
— 前期調査時点での今期見通し

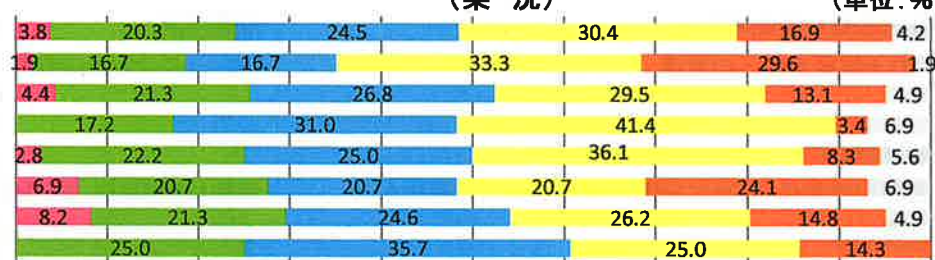


来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(見通し ▲ 23.2 今期比 42.6)
製造業	(見通し ▲ 44.4 今期比 24.1)
非製造業	(見通し ▲ 16.9 今期比 48.1)
建設業	(見通し ▲ 27.6 今期比 10.3)
小売業	(見通し ▲ 19.4 今期比 58.3)
卸売業	(見通し ▲ 17.2 今期比 41.4)
サービス業	(見通し ▲ 11.5 今期比 57.4)
その他業	(見通し ▲ 14.3 今期比 60.7)

(業況)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

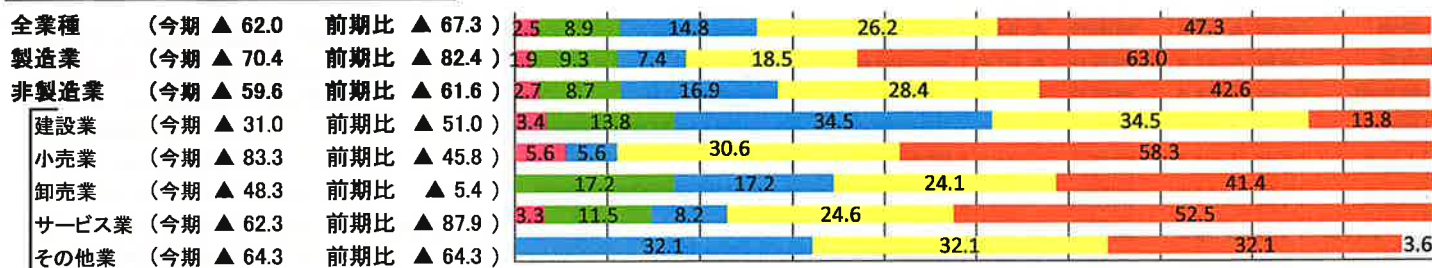
今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業では24.1ポイント改善の▲44.4、非製造業では48.1ポイント改善の▲16.9、全業種で42.6ポイント改善の▲23.2と見通している。製造業のやや悪化、悪化要因として、「新型コロナウイルス感染症による影響」、「消費税増税による反動」等が挙げられ、非製造業の同要因としては、「新型コロナウイルス感染症による影響」、「先行き不透明」、「取引先の業況悪化」等が挙げられた。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

売上DI値は、製造業で▲70.4(前期比▲82.4)、非製造業で▲59.6(前期比▲61.6)、全業種で▲62.0(前期比▲67.3)となり、全業種で大幅に減少となった。

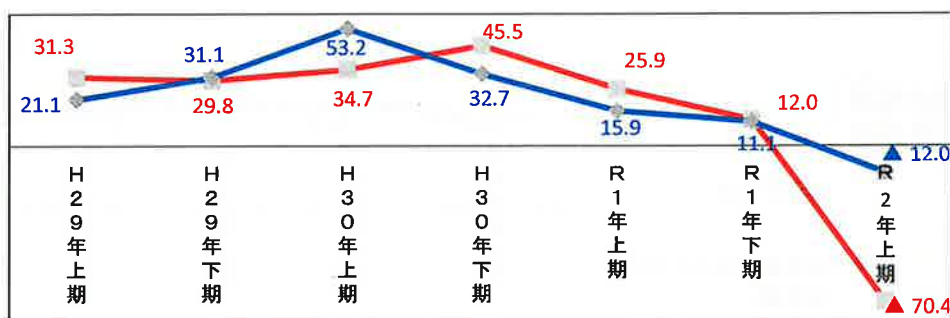
製造業、非製造業ともに全業種において、減少、やや減少要因としては、「新型コロナウイルス感染症による影響」が大多数を占め、「休業」や、「自粛」等により、通常の経済活動ができなかったことが挙げられた。

※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業

—■— 実際のDI値

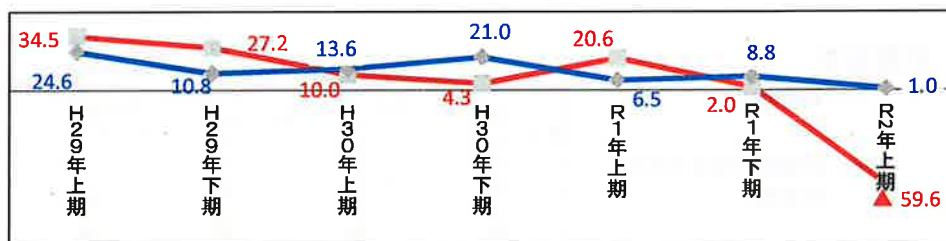
—●— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

—■— 実際のDI値

—●— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(売上)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で33.3ポイント改善の▲37.0、非製造業で44.3ポイント改善の▲15.3、全業種で41.8ポイント改善の▲20.3と見通している。

製造業におけるやや減少、減少要因として、「新型コロナウイルス感染症による影響」が挙げられ、非製造業の同要因として「新型コロナウイルス感染症による影響」が挙げられ、「顧客数・販売数の減少」、「コロナの収束の見通しが立たない」等が挙げられた。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

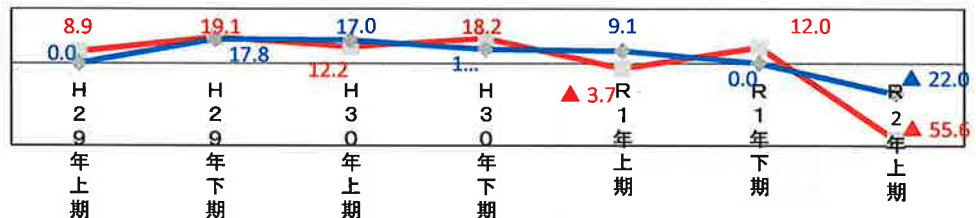
採算DI値は、製造業で▲55.6(前期比▲67.6)、非製造業で▲56.8(前期比▲47.9)、全業種で▲56.5(前期比▲54.5)となった。製造業におけるやや悪化、悪化要因として、「新型コロナウイルス感染症による影響」が挙げられ、非製造業については全ての業種において悪化し、前期比においても悪化。やや好転、好転要因としては、「巣ごもり消費」、「ネット販売の拡大」等が挙げられた。

※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移
製造業

— 実際のDI値

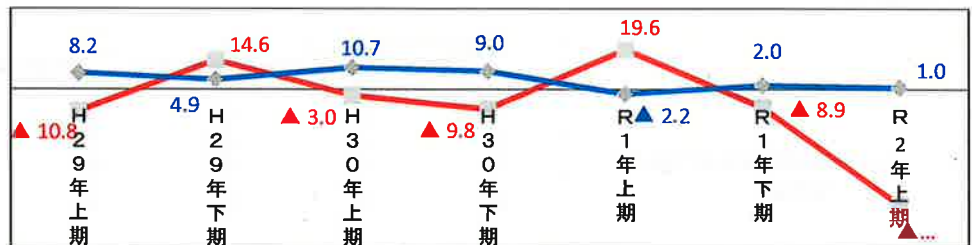
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

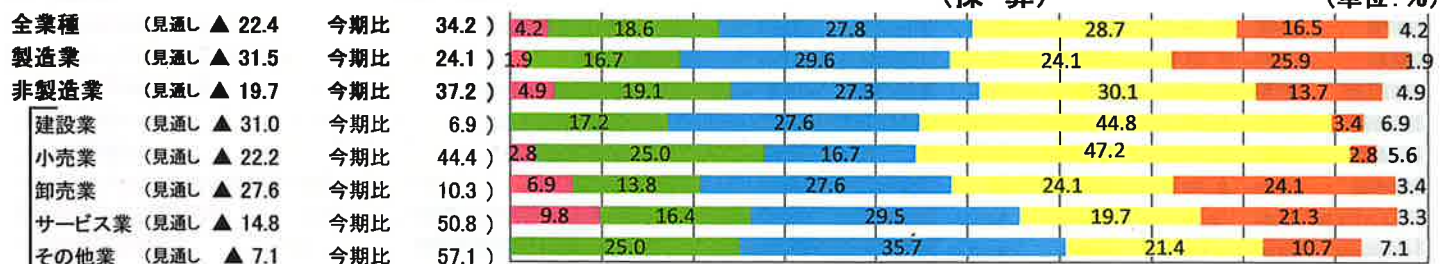
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(採 算)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回

今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期見通しDI値は、製造業で24.1ポイント改善の▲31.5、非製造業で37.2ポイント改善の▲19.7、全業種で34.2ポイント改善の▲22.4と見通している。全ての業種において今期比では改善となったが、来期見通しDI値は依然としてマイナス域にとどまっており、回復には厳しい見通しとなり、やや悪化、悪化要因としては「新型コロナウイルス感染症による影響」が挙げられている。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

資金繰りDI値は、製造業で▲29.6(前期比▲41.6)、非製造業で▲23.5(前期比▲23.5)、全業種で▲24.9(前期比▲28.9)となった。製造業、非製造業ともに悪化しており、前期比においても小売業でややプラスとなった以外、全ての業種でマイナスとなった。新型コロナウイルス感染症の影響で急激に資金繰りが悪化したことが伺える結果となった。

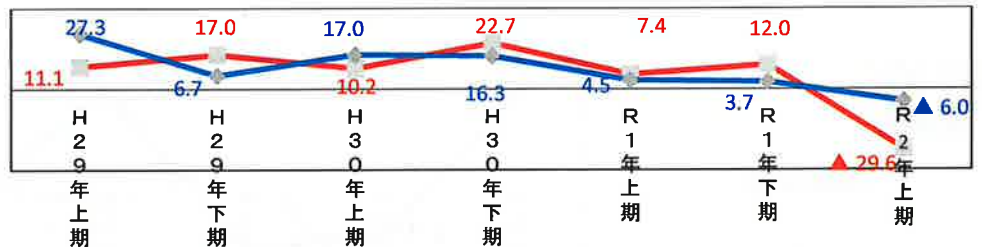
※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

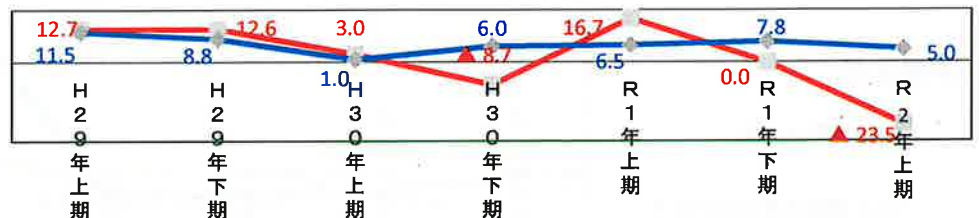
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

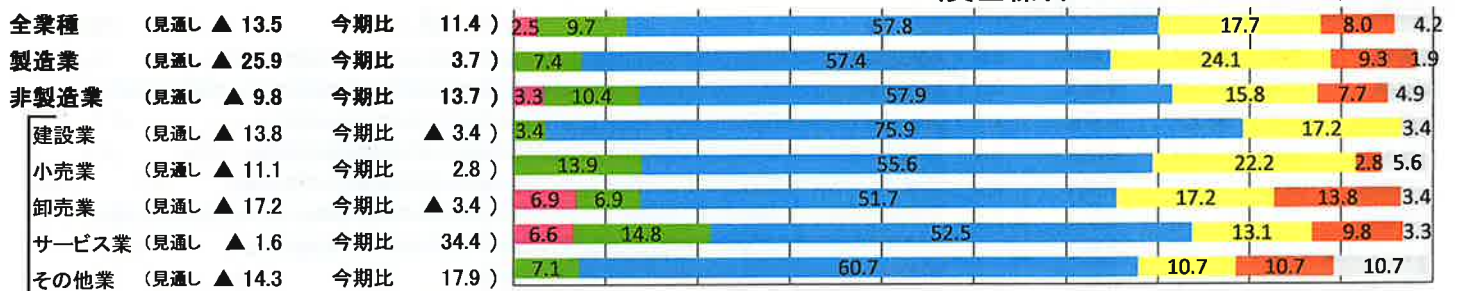
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(資金繰り)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

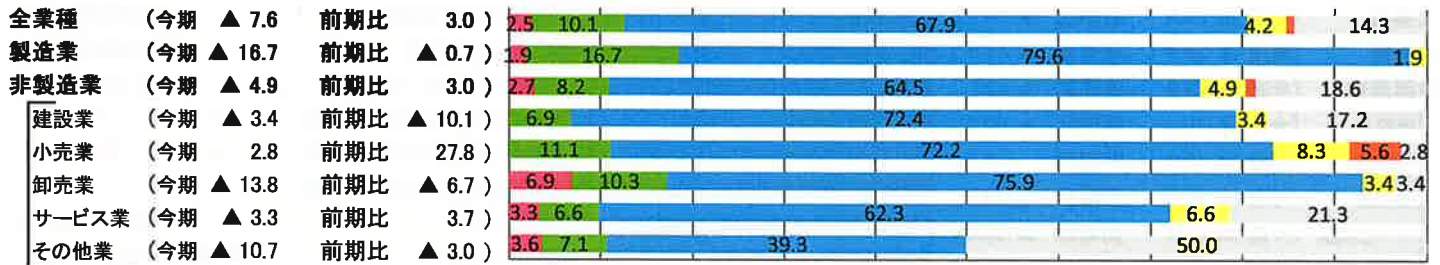
今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で▲3.7ポイント改善の▲25.9、非製造業で▲13.7ポイント改善の▲9.8、全業種で▲11.4ポイント改善の▲13.5と見通している。製造業・非製造業ともにマイナス域で推移しているものの、今期比では、建設業、卸売業のみマイナスとなっており、やや改善の見通しとなった。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

在庫DI値は、製造業で▲16.7(前期比▲0.7)、非製造業で▲4.9(前期比3.0)、全業種で▲7.6(前期比3.0)となった。製造業では、前期比マイナスとなり、在庫の過剰傾向が何え、非製造業では前期比でやや改善したもののマイナス域を脱しておらず、小売業以外は在庫の過剰傾向が見受けられた。

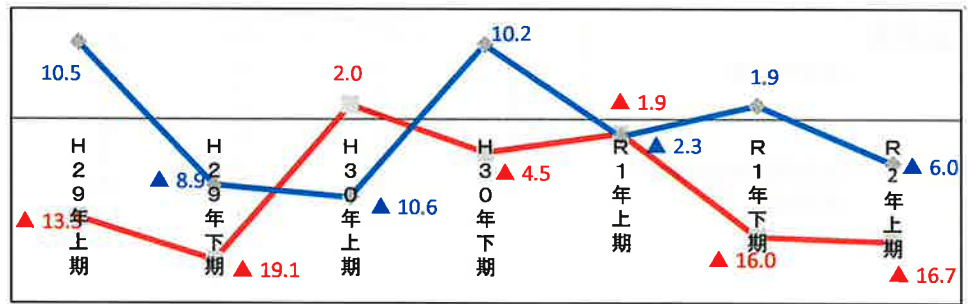
※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

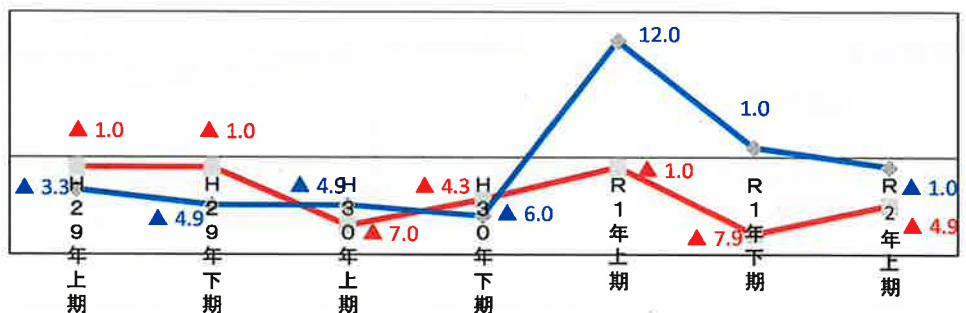
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

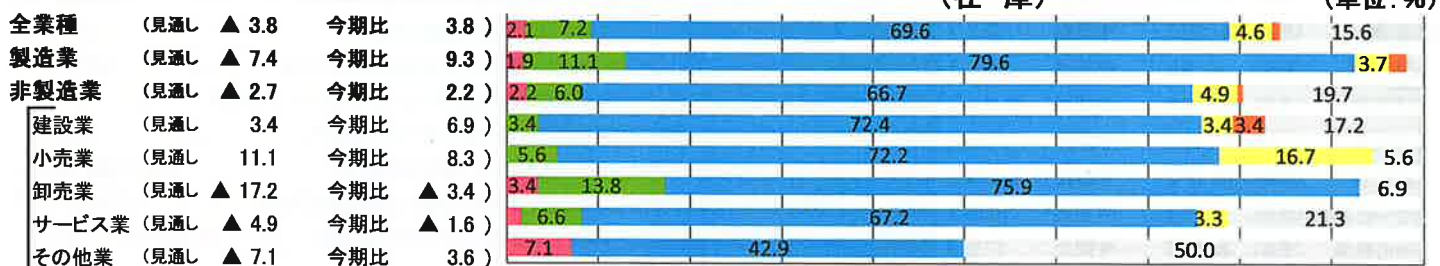
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(在庫)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。 ■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

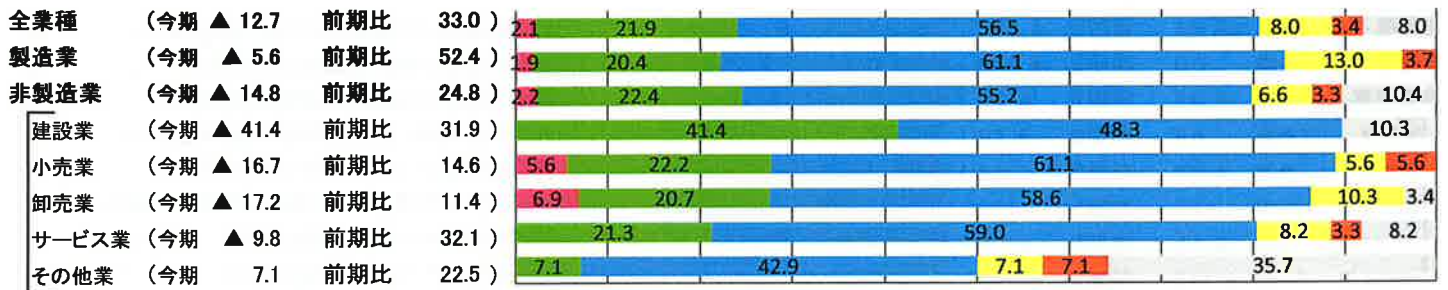
今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で9.3ポイント改善の▲7.4、非製造業で2.2ポイント改善の▲2.7、全業種で3.8ポイント改善の▲3.8と見通している。非製造業では「卸売業」、「サービス業」、「その他業」でマイナスを示し、今期比においては「卸売業」、「サービス業」でマイナスとなり、引き続き在庫過剰の状況が続く見通しとなった。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

仕入単価DI値は、製造業で▲5.6(前期比52.4)、非製造業▲14.8(前期比24.8)、全業種で▲12.7(前期比33.0)となった。製造業、非製造業ともに、前期比で改善が見られるものの依然マイナス域で推移しており、非製造業では、「その他業」以外はマイナス域での推移が続くなど仕入単価上昇による影響が伺える。

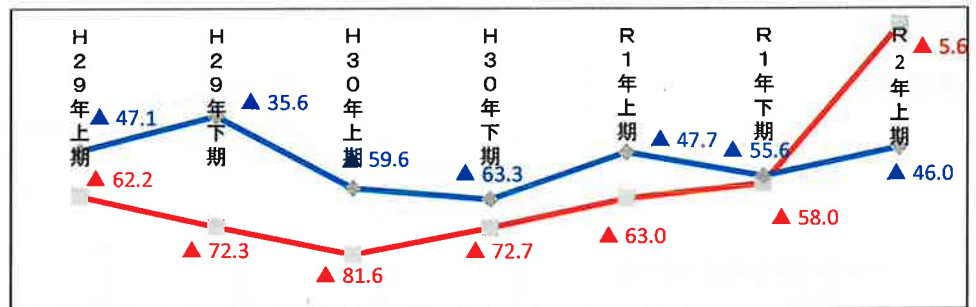
※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

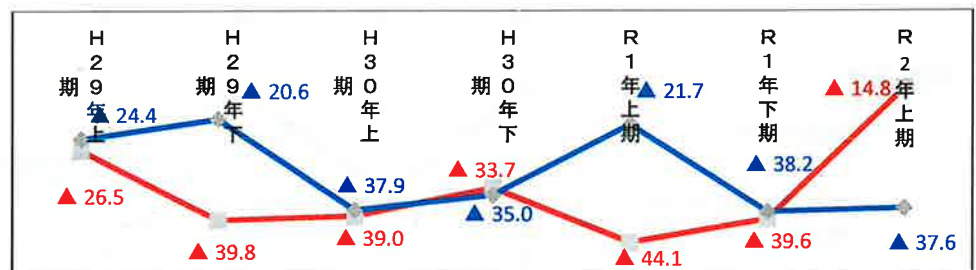
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

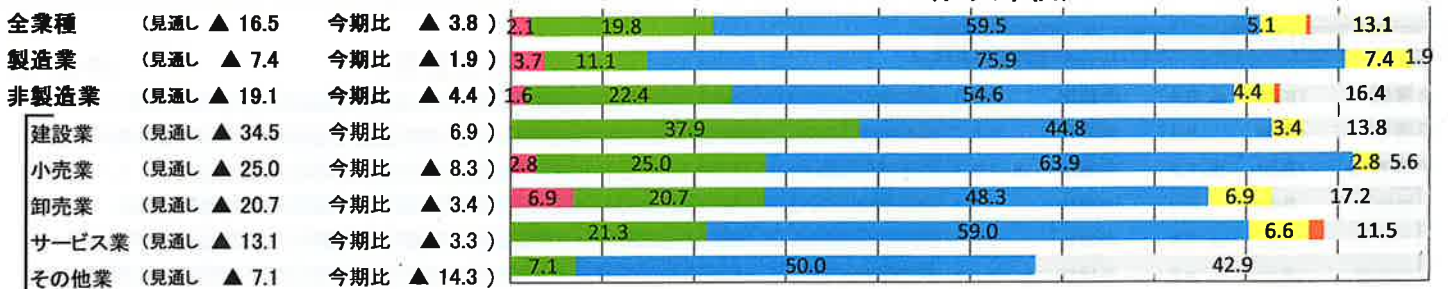
— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で1.9ポイント悪化の▲7.4、非製造業で4.4ポイント悪化の▲19.1、全業種で3.8ポイント悪化の▲16.5と見通している。「建設業」のみ、今期比でやや改善となっているが、製造業、非製造業ともに今期比は悪化傾向となり、全業種でプラス域に達することなく引き続き厳しい見通しとなった。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

従業員数DI値は、製造業で0.0(前期比▲32.0)、非製造業で▲0.5(前期比▲3.5)、全業種で▲0.4(前期比▲13.0)となった。製造業では前期に比べ大きく減少、非製造業で小売業、卸売業では前期比プラスとなった。人手はやや減少傾向であることが伺える。

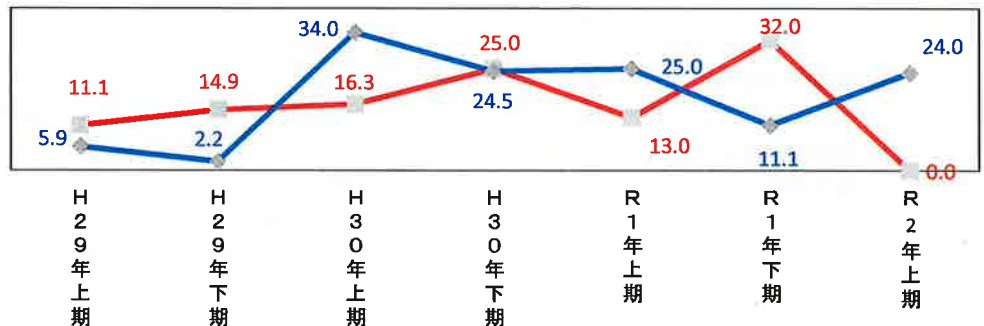
※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

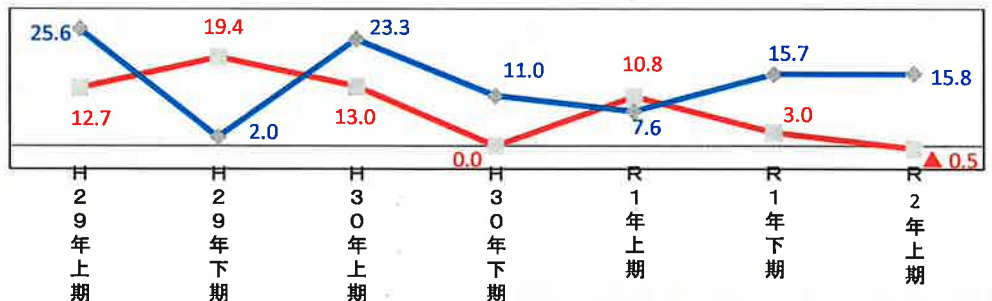
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(従業員数)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

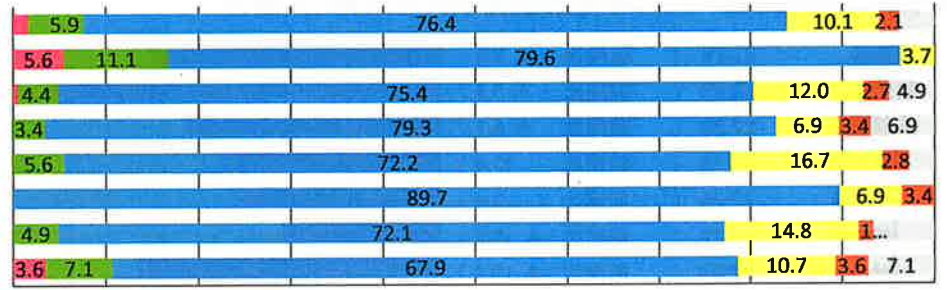
今期と比較した来期の見通しDI値は、製造業で5.6ポイント上昇、非製造業で1.6ポイント下降の▲2.2、全業種では▲0.4ポイントと見通している。非製造業を業種別で見ると、「卸売業」および「サービス業」で今期より下降する見通しとなった。

今期(2020年1月～6月)のDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(今期 4.6 前期比 ▲ 5.3)
製造業	(今期 ▲ 13.0 前期比 ▲ 27.0)
非製造業	(今期 9.8 前期比 1.9)
建設業	(今期 6.9 前期比 ▲ 6.4)
小売業	(今期 13.9 前期比 ▲ 11.1)
卸売業	(今期 10.3 前期比 ▲ 18.3)
サービス業	(今期 11.5 前期比 16.2)
その他業	(今期 3.6 前期比 3.6)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)の状況

設備DI値は、製造業で▲13.0(前期比▲27.0)、非製造業で9.8(前期比1.9)、全業種で4.6(前期比▲5.3)となった。製造業では、前期比もマイナスとなり設備不足の傾向が同え、非製造業ではややプラスとなったが、コロナ対策への設備不足が同えた。

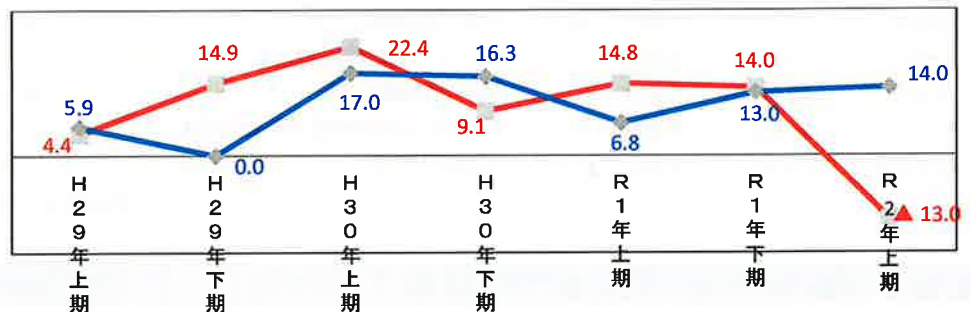
※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

DI値の推移

製造業

— 実際のDI値

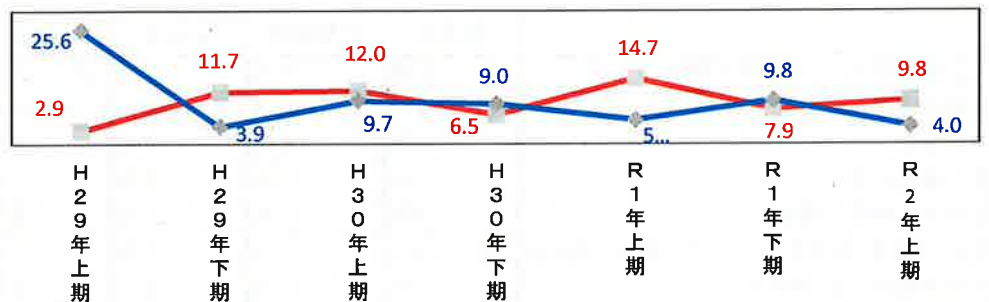
— 前期調査時点での今期見通し



非製造業

— 実際のDI値

— 前期調査時点での今期見通し

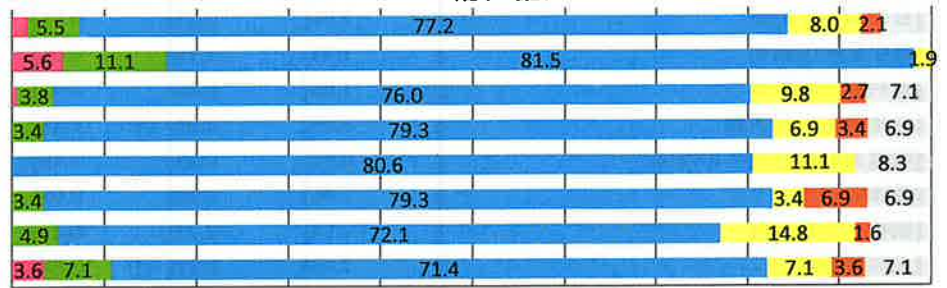


来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

(設 備)

(単位: %)

全業種	(見通し 3.0 今期比 ▲ 1.7)
製造業	(見通し ▲ 14.8 今期比 ▲ 1.9)
非製造業	(見通し 8.2 今期比 ▲ 1.6)
建設業	(見通し 6.9 今期比 0.0)
小売業	(見通し 11.1 今期比 ▲ 2.8)
卸売業	(見通し 6.9 今期比 ▲ 3.4)
サービス業	(見通し 11.5 今期比 0.0)
その他業	(見通し 0.0 今期比 ▲ 3.6)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 過剰 ■ やや過剰 ■ 適正 ■ やや不足 ■ 不足 ■ 無回答

今期と比較した来期(2020年7月～12月)の見通し

今期と比べた来期の見通しDI値は、製造業で1.9ポイント悪化の▲14.8、非製造業で1.6ポイント悪化の8.2、全業種で1.7ポイント悪化の3.0と見通しており、今期同様やや設備不足の傾向が続く見通しとなった。

【 新規設備投資 】

◆ 今期(2020年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 行った ■ 行っていない ■ 無回答

※前期比とは、前回調査(令和元年12月実施)のDI値と今期を比較した増減です。

◆ 来期(2020年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



■ 計画あり ■ 計画なし ■ 無回答

【 直面している課題 】

	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	3.3%	0.0%	② 13.9%	3.4%	0.0%	0.0%
需要の停滞	② 53.7%	② 30.1%	② 24.1%	① 44.4%	② 31.0%	③ 24.6%	② 28.6%
為替差損	0.0%	4.4%	3.4%	2.8%	0.0%	9.8%	0.0%
売上単価の低下	7.4%	5.5%	3.4%	② 13.9%	3.4%	3.3%	3.6%
新規参入業者の増加	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	3.4%	13.1%	7.1%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③ 16.7%	7.1%	3.4%	② 13.9%	10.3%	3.3%	7.1%
生産設備の不足・老朽化	14.8%	2.7%	6.9%	5.6%	0.0%	1.6%	0.0%
原材料の不足	3.7%	3.3%	0.0%	0.0%	3.4%	8.2%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	11.1%	5.5%	③ 13.8%	③ 11.1%	3.4%	0.0%	3.6%
下請負単価の上昇	1.9%	2.2%	10.3%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
官公需要の停滞	1.9%	0.5%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	1.9%	1.1%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	1.9%	0.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	3.8%	③ 13.8%	5.6%	3.4%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	0.5%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	1.9%	2.2%	0.0%	2.8%	3.4%	1.6%	3.6%
価格への転嫁難	1.9%	2.7%	0.0%	0.0%	10.3%	1.6%	3.6%
人件費の増加	7.4%	9.8%	③ 13.8%	8.3%	0.0%	14.8%	7.1%
設備の過剰	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	1.9%	1.1%	0.0%	0.0%	3.4%	1.6%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	1.1%	0.0%	2.8%	3.4%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	3.7%	6.0%	3.4%	5.6%	3.4%	9.8%	3.6%
従業員・熟練技術者の確保難	11.1%	③ 23.5%	① 31.0%	② 13.9%	③ 24.1%	② 26.2%	③ 21.4%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	0.0%	1.6%	3.4%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%
コロナの影響	① 63.0%	① 47.0%	① 31.0%	① 44.4%	① 48.3%	① 62.3%	① 32.1%
その他	0.0%	4.9%	6.9%	0.0%	6.9%	3.3%	10.7%

参考資料

小規模事業者（従業員：製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下）

※宿泊業および娯楽業は20人以下

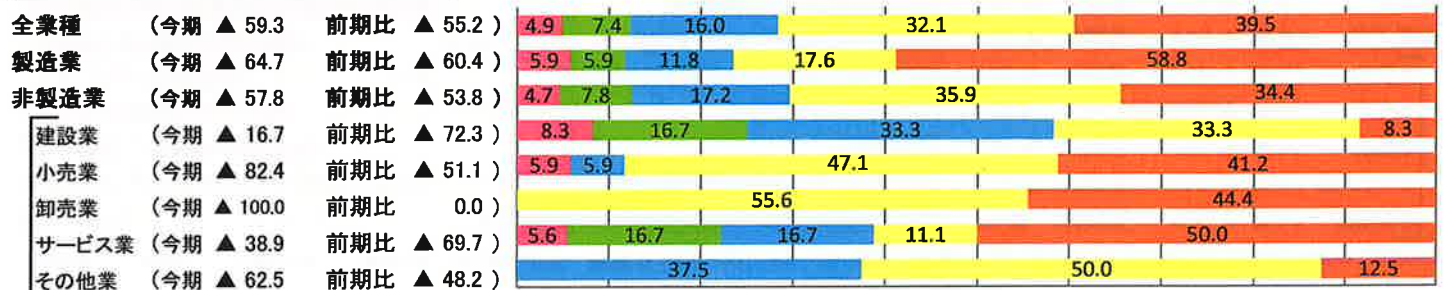
景況調査結果

- 目的：当地域における景気実態を把握するとともに、当商工会議所事業活動の指針とする。
- 調査対象期間：2020年1月1日から2020年6月30日（2020年（令和2年）上期）
- 調査実施期間：2020年8月3日から2020年9月30日
- 調査方法：郵送によるアンケート方式
- 調査対象：当所管内会員事業所の小規模企業者（従業員数が製造業・建設業は20人以下、商業・サービス業等は5人以下） 365 事業所 ※宿泊業および娯楽業は20人以下
- 回答数：81（回答率 22.2%）

業種		従業員数		
		0～5人	6～20人	合計
製造業		8	9	17
非製造業	建設業	5	7	12
	小売業	17		17
	卸売業	9		9
	サービス業	18		18
	その他業	6	2	8
合計		63	18	81

業況DI

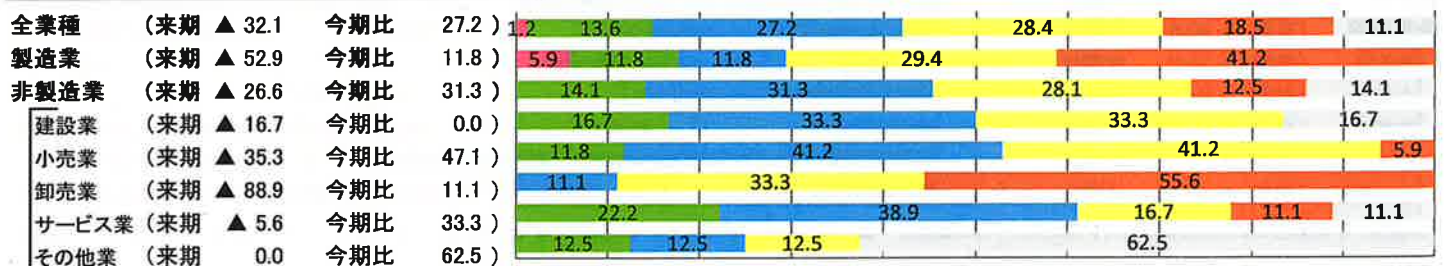
今期（2020年1月～6月）のDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化

来期（2020年7月～12月）の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

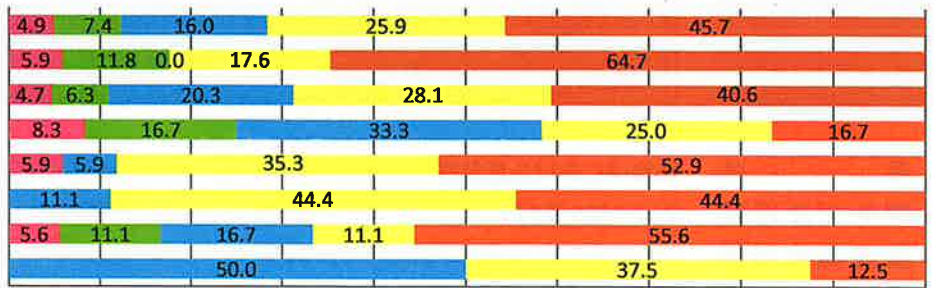
■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

今期(2020年1月～6月)のDI値

(売上)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 59.3 前期比 ▲ 62.0)
製造業	(今期 ▲ 64.7 前期比 ▲ 82.1)
非製造業	(今期 ▲ 57.8 前期比 ▲ 53.8)
建設業	(今期 ▲ 16.7 前期比 ▲ 61.1)
小売業	(今期 ▲ 82.4 前期比 ▲ 57.4)
卸売業	(今期 ▲ 88.9 前期比 ▲ 8.9)
サービス業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 80.8)
その他業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 21.4)

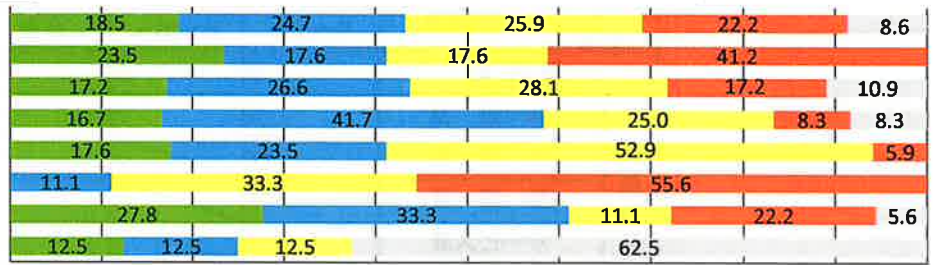


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少

来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 29.6 今期比 29.6)
製造業	(来期 ▲ 35.3 今期比 29.4)
非製造業	(来期 ▲ 28.1 今期比 29.7)
建設業	(来期 ▲ 16.7 今期比 0.0)
小売業	(来期 ▲ 41.2 今期比 41.2)
卸売業	(来期 ▲ 88.9 今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲ 5.6 今期比 44.4)
その他業	(来期 0.0 今期比 50.0)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

採算DI

今期(2020年1月～6月)のDI値

(採算)

(単位: %)

全業種	(今期 ▲ 55.6 前期比 ▲ 43.3)
製造業	(今期 ▲ 52.9 前期比 ▲ 52.9)
非製造業	(今期 ▲ 56.3 前期比 ▲ 38.3)
建設業	(今期 ▲ 41.7 前期比 ▲ 52.8)
小売業	(今期 ▲ 64.7 前期比 ▲ 33.4)
卸売業	(今期 ▲ 88.9 前期比 ▲ 28.9)
サービス業	(今期 ▲ 44.4 前期比 ▲ 52.1)
その他業	(今期 ▲ 50.0 前期比 ▲ 7.1)

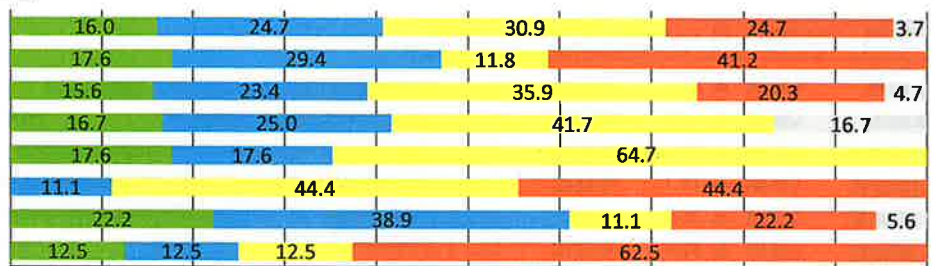


※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

全業種	(来期 ▲ 39.5 今期比 16.0)
製造業	(来期 ▲ 35.3 今期比 17.6)
非製造業	(来期 ▲ 40.6 今期比 15.6)
建設業	(来期 ▲ 25.0 今期比 16.7)
小売業	(来期 ▲ 47.1 今期比 17.6)
卸売業	(来期 ▲ 88.9 今期比 0.0)
サービス業	(来期 ▲ 11.1 今期比 33.3)
その他業	(来期 ▲ 62.5 今期比 ▲ 12.5)



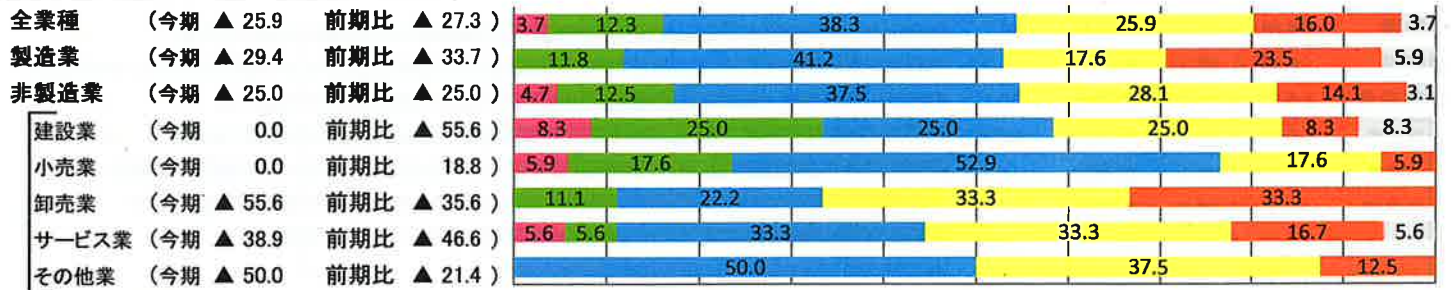
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 好転 ■ やや好転 ■ 不変 ■ やや悪化 ■ 悪化 ■ 無回答

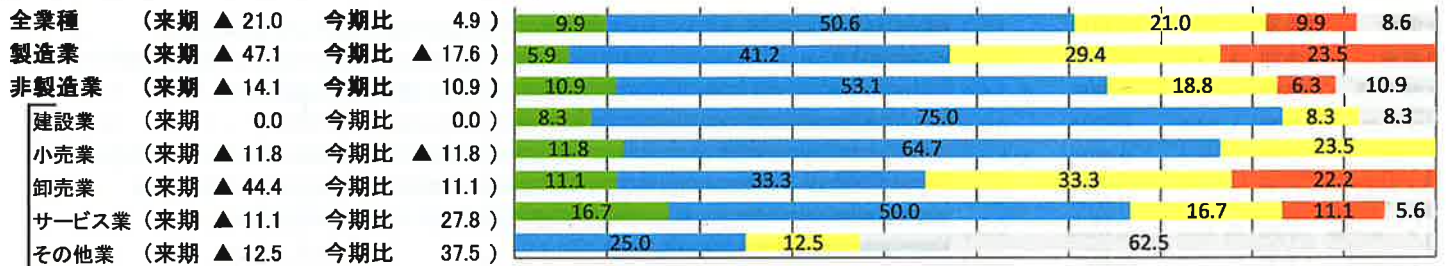
今期(2020年1月～6月)のDI値

(資金繰り)

(単位: %)



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値

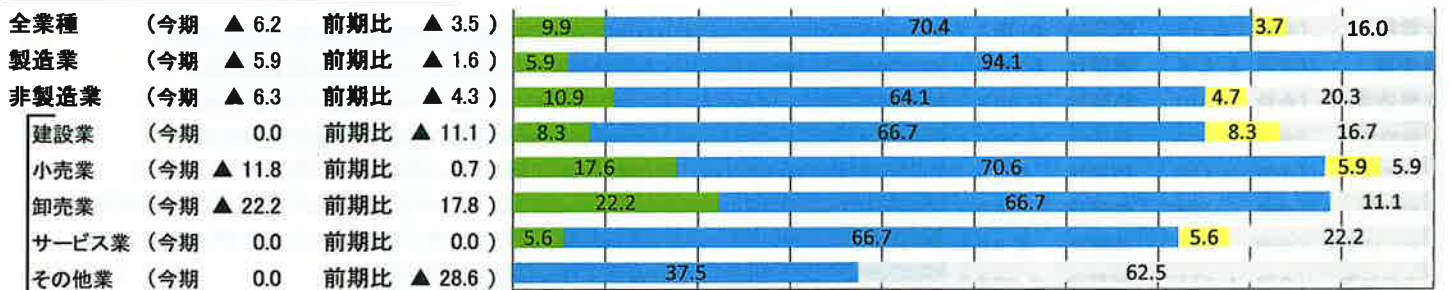


在庫DI

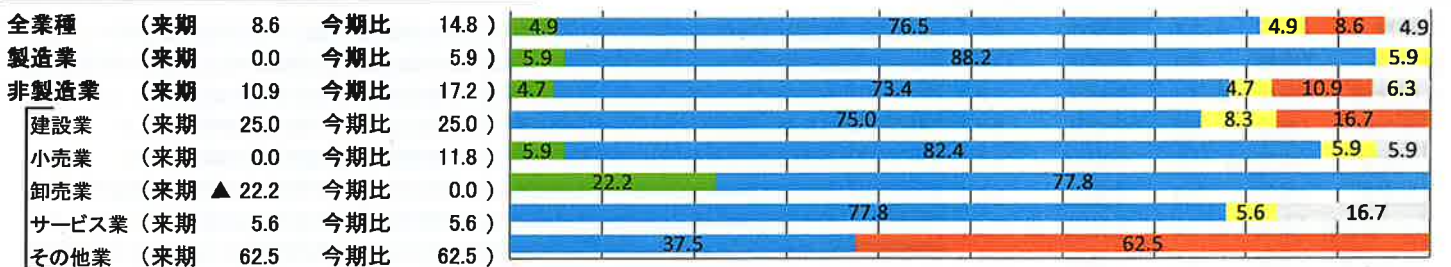
今期(2020年1月～6月)のDI値

(在庫)

(単位: %)



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値



仕入単価DI

今期(2020年1月～6月)のDI値

(仕入単価)

(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

来期(2020年7月～12月)の見通しDI値



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

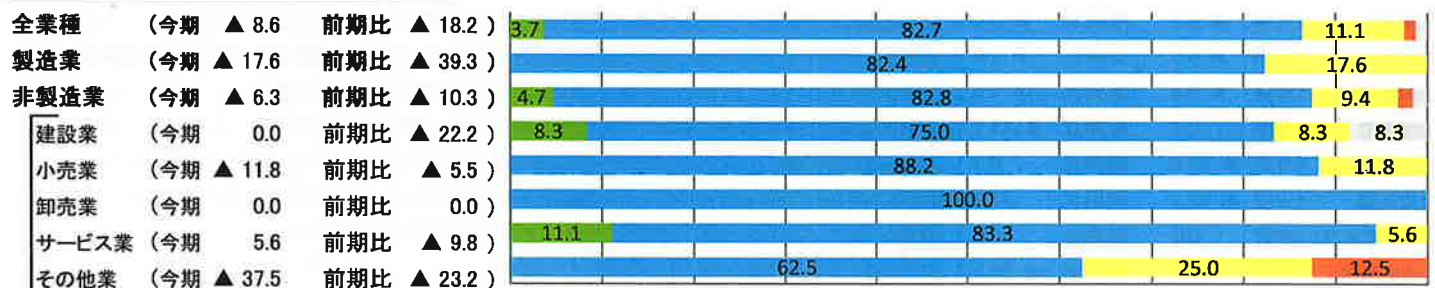
■ 上昇 ■ やや上昇 ■ 不変 ■ やや低下 ■ 低下 ■ 無回答

従業員数DI

今期(2020年1月～6月)のDI値

(従業員数)

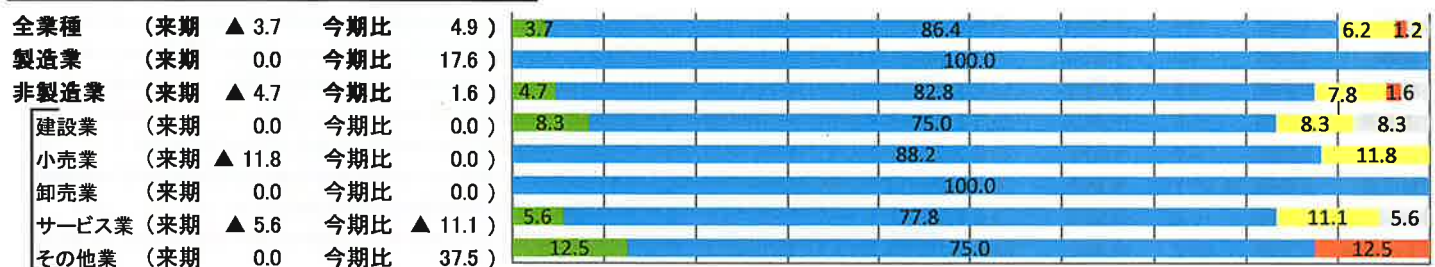
(単位: %)



※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少 ■ 減少 ■ 無回答

来期(2020年7月～12月)の見通しDI値



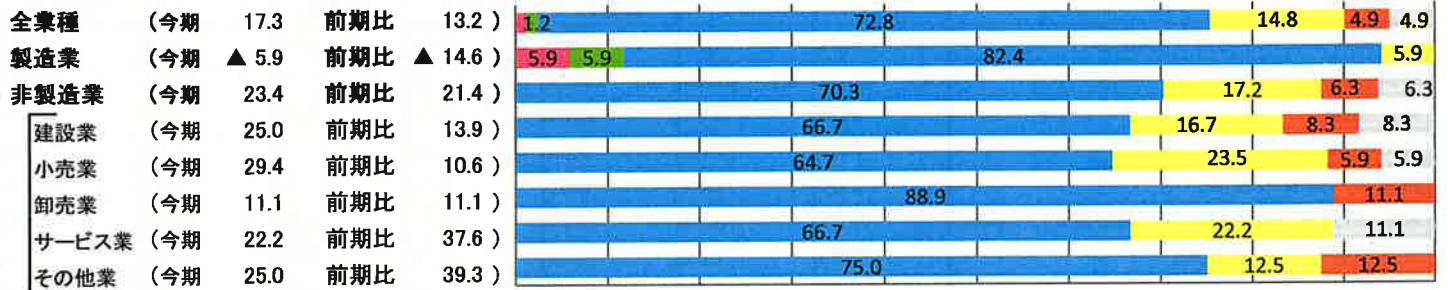
※DI値は、小数点第2位を四捨五入しているため、グラフ数値と一致しない場合があります。

■ 増加 ■ やや増加 ■ 不変 ■ やや減少

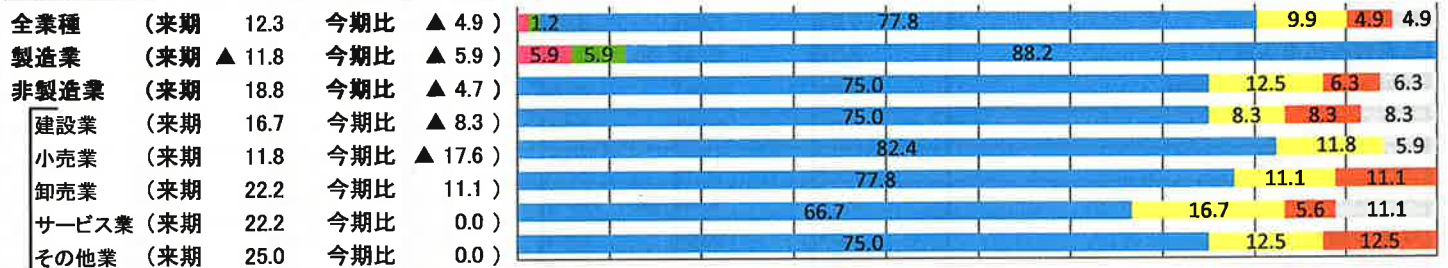
今期(2020年1月～6月)のDI値

(設備)

(単位:%)



来期(2020年7月～12月)の見通しDI値



新規設備投資

◆今期(2020年1月～6月)の新規設備投資を実施した割合



◆来期(2020年7月～12月)の新規設備投資を計画している割合



	製造業	非製造業	建設業	小売業	卸売業	サービス業	その他業
大企業の進出による競争の激化	0.0%	4.7%	0.0%	③ 17.6%	0.0%	0.0%	0.0%
需要の停滞	② 52.9%	② 34.4%	② 33.3%	② 41.2%	② 44.4%	③ 16.7%	① 50.0%
為替差損	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
売上単価の低下	0.0%	7.8%	0.0%	③ 17.6%	11.1%	5.6%	0.0%
新規参入業者の増加	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	③ 25.0%
製品(消費者・利用者等)ニーズの変化への対応	③ 17.6%	10.9%	8.3%	11.8%	0.0%	② 22.2%	0.0%
生産設備の不足・老朽化	5.9%	7.8%	8.3%	11.8%	0.0%	11.1%	0.0%
原材料の不足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
仕入・原材料単価の上昇	11.8%	9.4%	8.3%	③ 17.6%	0.0%	11.1%	0.0%
下請負単価の上昇	0.0%	1.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
官公需要の停滞	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
取引条件の悪化	5.9%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
金利負担の増加	0.0%	1.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業資金の借入難	0.0%	6.3%	③ 16.7%	5.9%	11.1%	0.0%	0.0%
購買力の他地域への流出	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
在庫の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
価格への転嫁難	0.0%	4.7%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	12.5%
人件費の増加	5.9%	3.1%	③ 16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
設備の過剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
代金回収の悪化	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
駐車場の確保難	0.0%	1.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
店舗・施設の老朽化	0.0%	6.3%	8.3%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
従業員・熟練技術者の確保難	5.9%	③ 23.4%	① 41.7%	5.9%	③ 22.2%	② 22.2%	② 37.5%
燃料費(電気料金を含む)の高騰	0.0%	4.7%	8.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
コロナの影響	① 70.6%	① 50.0%	③ 16.7%	① 52.9%	① 66.7%	① 66.7%	② 37.5%
その他	0.0%	6.3%	8.3%	0.0%	11.1%	5.6%	12.5%